

平成26年1月31日

各 位

会 社 名 株式会社新東京グループ  
(コード番号 6066 TOKYO PRO Market)  
代表者名 代表取締役社長 吉野勝秀  
問合せ先 取締役管理部長 小野澤歩  
T E L 047-383-7001  
U R L www.mr-shintokyo.co.jp

平成26年5月期中間連結会計期間業績予想と実績値との差異(上方修正)  
および通期業績予想の(上方)修正に関するお知らせ

平成25年7月31日に公表いたしました平成26年5月期中間連結会計期間(平成25年6月1日～平成25年11月30日)の業績予想と本日公表の実績に差異が生じたのでお知らせいたします。また、最近の業績動向を踏まえ、通期業績予想を下記のとおり上方修正いたしましたので、お知らせいたします。

下記のとおり、当社グループ中間連結会計期間の経営成績は、同期間における過去最高売上高、最高益となりました。

この結果に甘んじることなく、当社グループは、循環型社会の担い手としての責務を果たすとともに、株主利益の最大化のため、引き続き業務に邁進してまいります。

記

1. 中間連結会計期間業績予想と実績値との差異

(1) 平成26年5月期中間連結会計期間業績予想数値と実績の差異

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	半 期 純 利 益	1 株 当 た り 中 間 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	3,100	180	140	80	16.13
今回実績 (B)	3,731	170	138	85	17.25
増減額 (B-A)	631	△10	△2	5	
増減率 (%)	20.4	△5.6	△1.4	6.3	
(ご参考) 前期中間期実績 (平成25年5月期中間期)	1,433	49	13	7	1.46

(注)平成25年12月1日を効力発生日として普通株式1株につき20株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり中間純利益金額を算定しております。

(2) 差異の生じた理由

平成25年4月より当社グループの新規事業として開始いたしましたメタルマテリアル事業につきましては、経営努力による早期の事業拡大、円安を背景としたマテリアル価格の上昇等の要因により、当初計画を上回る好成績を達成することができ、また、環境プロデュース事業も好調に推移し、当中間連結会計期間の業績において、売上高が前回発表予想数値を上回る結果となりました。

2. 通期業績予想の修正

(1) 平成26年5月期通期連結業績予想数値の修正(平成25年6月1日～平成26年5月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 5,100	百万円 300	百万円 240	百万円 140	円 銭 28.23
今回修正予想 (B)	6,000	300	240	140	28.23
増減額 (B-A)	900	0	0	0	
増減率 (%)	17.6%	0.0%	0.0%	0.0%	
(ご参考) 前期実績 (平成25年5月期)	3,096	230	172	99	20.07

(注) 平成25年12月1日を効力発生日として普通株式1株につき20株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、前期実績及び平成26年5月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益金額を算定しております。

(2) 修正の理由

既存事業、新規事業ともに上半期の好調を維持する可能性が極めて高く、売上高の予想を上方修正いたします。利益につきましては、円安による燃料費の高騰と、需給の悪化による人件費の上昇が見込まれることから、従来どおりの予想といたします。

(注) 上記の業績予想および配当予想は、本資料の発表日現在において入手可能な上方に基づき判断した予想であり、リスクや不確実性を含んでおります。したがって、実際の業績等は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

以上